

進行管理に用いる指標の修正について

1. 修正箇所

部門別温室効果ガス排出量 (t-CO₂) 平成2年度 (1990年度) 比 (%)
再生可能エネルギー等設備導入量 (kW)

2. 修正内容

(修正前)

指標	指標の示すもの	目標達成に向けた方向性
部門別温室効果ガス排出量 (t-CO ₂) 平成2年度 (1990年度) 比 (%)	産業部門、家庭部門、業務部門、運輸部門、廃棄物部門別の削減状況を示す	産業: 66%減 家庭: 32%減 業務: 11%減 運輸: 46%減 廃棄物: 30%減
再生可能エネルギー等設備導入量 (kW) (※2) (令和元年度 (2019年度) 実績 20,829kW)	再生可能エネルギー等設備の導入状況を示す	増加 (26,345kW以上) (※3)

※2: FITによる導入量で把握

※3: 大阪府「おおさかスマートエネルギープラン」(2021年3月)をもとに算出

令和元年(2019年)3月時点19,690kW、住宅換算で5,759戸(土地換算196千㎡)

追加的に設置すべき太陽光発電施設の

目安(令和元年度(2019年度)から令和9年度(2027年度))として1,946戸(土地換算67千㎡)



(修正後)

指標	指標の示すもの	目標達成に向けた方向性
部門別温室効果ガス排出量 (t-CO ₂) 平成2年度 (1990年度) 比 (%)	産業部門、家庭部門、業務部門、運輸部門、廃棄物部門別の削減状況を示す	平成2年度 (1990年度) 比 (%) 産業: 66%減 家庭: 32%減 業務: 11%減 運輸: 46%減 廃棄物: 33%減
再生可能エネルギー等設備導入量 (kW) (※2) (令和元年度 (2019年度) 実績 23,838kW)	再生可能エネルギー等設備の導入状況を示す	増加 (29,894kW以上) (※3)

※2: FITによる導入量で把握

※3: 大阪府「おおさかスマートエネルギープラン」(2021年3月)をもとに算出

令和元年(2019年)3月時点22,343kW、住宅換算で6,353戸(土地換算223千㎡)

追加的に設置すべき太陽光発電施設の

目安(令和元年度(2019年度)から令和9年度(2027年度))として2,209戸(土地換算76千㎡)

3. 修正理由

環境基本計画の改定に伴い数値を精査したところ、修正が必要であることが判明したため。

部門別温室効果ガス排出量 (t-CO₂) 平成2年度 (1990年度) 比 (%)

修正前の数値が温室効果ガス全体の数値ではなく、CO₂の数値であったため、その他ガスも含めて再計算したもの。

(参考、計画 P94抜粋)

表 3-9 令和9年度(2027年度)部門毎の排出量のめやす
(千t-CO₂)

		平成2年度 (1990年度) 実績	令和9年度 (2027年度) 排出量のめやす (a) - (d)	令和9年度 (2027年度) 1990年度比
CO ₂	産業	482	164	66%削減
	家庭	429	292	32%削減
	業務	323	287	11%削減
	運輸	252	135	46%削減
	廃棄物	60	42	30%削減
その他ガス		14	9	36%削減
計		1,560	929	40%削減

再生可能エネルギー等設備導入量 (kW)

平成30年度 (2018年度) および令和元年度 (2019年度) 実績の数値を精査し修正。

「目標達成に向けた方向性」の数値の設定根拠は平成30年度であるため合わせて修正。

(出典：「再生可能エネルギー電気の利用促進に関する特別措置法 情報公表用ウェブサイト」)